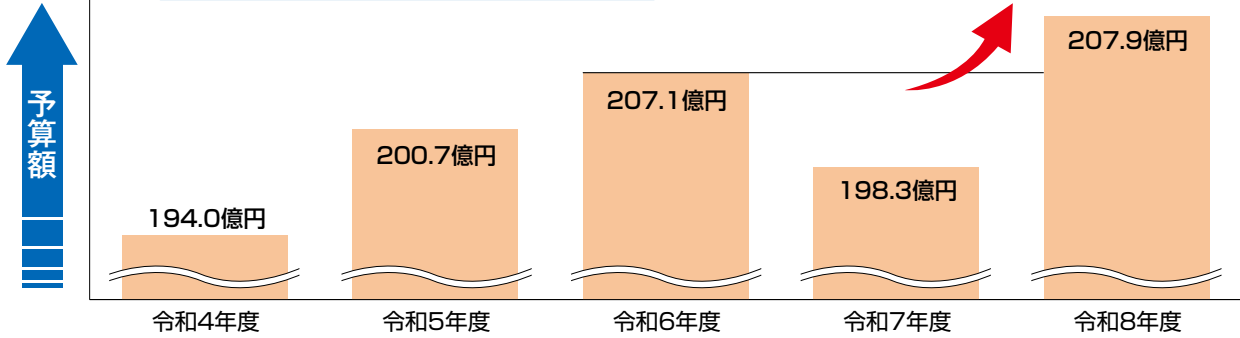


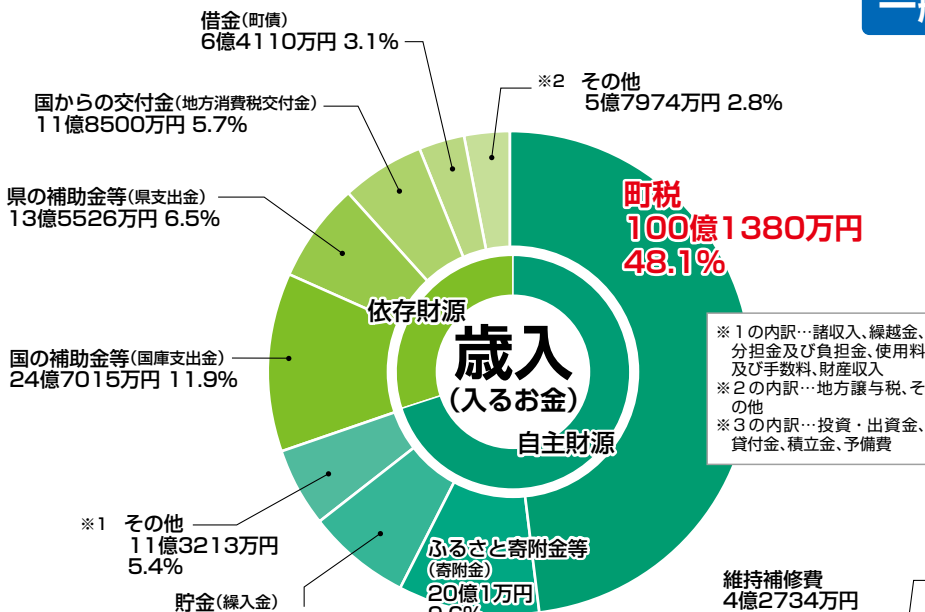
歳入での町税も 過去最大の100億円超!



一般会計当初予算額の推移



一般会計予算額の内訳



町民税、固定資産税、
寄附金などの独自に
確保できる収入

自主財源
145億5875万円
70.0%

国・県などの補助金、
交付金や町債など

依存財源
62億3125万円
30.0%

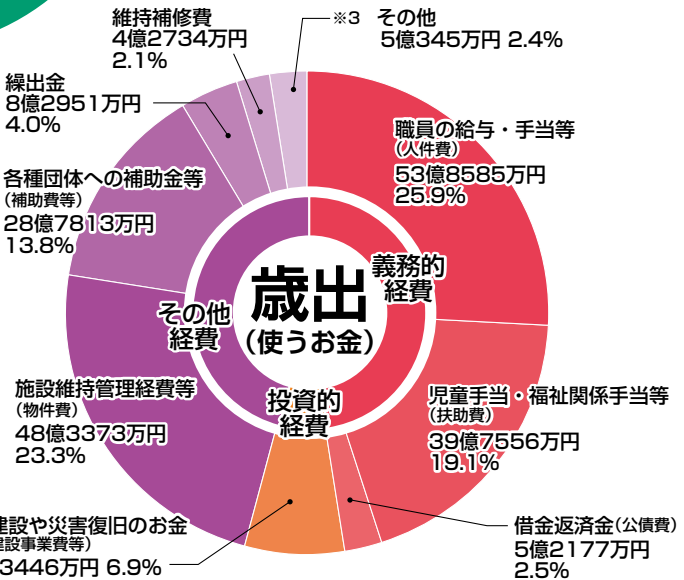
人件費、扶助費など、義務づけられている経費

義務的経費
98億8318万円
47.5%

その他経費
94億7216万円
45.6%

普通建設事業費と、災害復旧費で、固定的な資本の形成に向けられる経費

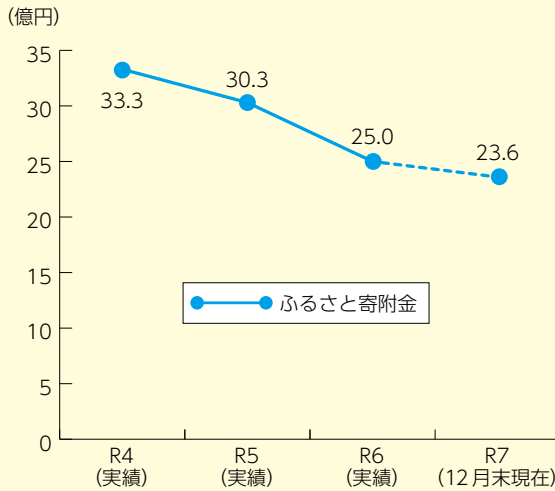
投資的経費
14億3466万円
6.9%



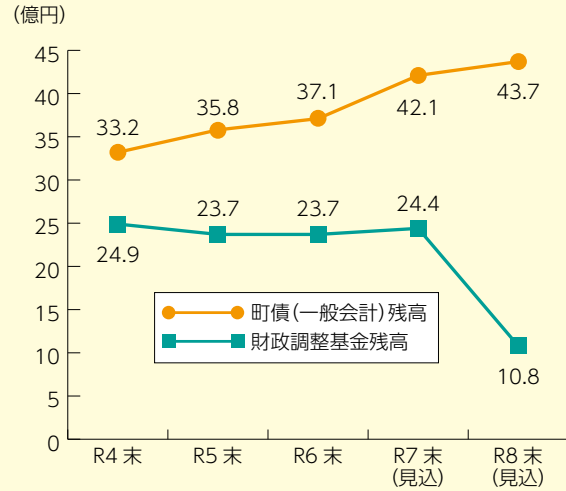
令和8年度 一般会計予算

過去最大の207億9000万円!

ふるさと寄附金の推移



基金(貯金)残高・町債(借金)残高の推移



予算特別委員会での各会計別の当初予算と採決状況

会計区分	予算額	伸び率 (%)	採決の状況 (1人欠席)	
一般会計	207億9000万円	4.8	賛成12：反対1で可決	
特別会計	土地取得	1165万2000円	▲97.1	全員賛成で可決
	国民健康保険	33億6095万3000円	2.3	賛成12：反対1で可決
	後期高齢者医療	7億7130万1000円	11.5	賛成12：反対1で可決
	介護保険	27億1852万1000円	2.7	賛成12：反対1で可決
水道事業会計	収益的支出	8億9480万1000円	4.8	全員賛成で可決
	資本的支出	4億5657万6000円	2.6	
下水道事業会計	収益的支出	12億5894万1000円	▲11.5	全員賛成で可決
	資本的支出	6億4284万2000円	▲14.4	
合計	309億558万7000円	1.9		

※予算特別委員会は議長を除く15人で構成され、委員長は賛否に加わることができません。(賛否同数の場合は除く)

※この後本会議で報告し、議決します。

新規事業や大型開発など取り組んできた結果、経常収支比率が上がり財政の硬化化を招いている。過去最大の予算規模は、財政調整基金の繰り入れや起債から成り立つ自転車操業で、財政破綻が危惧され改めるべき。「町民に応分の負担を」と使用料などの引き上げ検討は反対する。住民福祉の増進を進めるべきである。

丸山千代子議員

負担ではなく福祉の増進を



町民の幸福を守り抜く予算
松本 忠明議員
多様化する町民の皆さまのニーズに応えるべく、あらゆる分野・世代にきめ細やかに配慮した予算である。物価や労務費の高騰が続く厳しい環境下にあっても、町民の幸福と地域の発展を守り抜くこととする本予算を力強く支持する。